



# 大 幼



令和5年度  
園長だより No.3  
令和5年6月29日

## 3歳親子と共にグルンパの世界へ

6月16日金曜日に年少さん親子で大分市美術館に堀内誠一展の美術鑑賞とワークショップに行きました。子どもたちの中には、随分早くから目が覚めたという話を聞き、日常とは違う特別な日として楽しみにしていたことがわかりました。

展示していた作品の中に、グルンパ・グリグラ・雷ちゃんと天狗ちゃんなど複数の作家さんの絵が1枚に描かれている大変珍しい作品がありました。作家さん同士が集まって食事をしたようで、その時の記念だったそうです。作家さん同士の友好的な様子が伝わってくる作品でした。

本物に出会ったことで、園児たちの絵本との出会い直しが始まることを期待できそうです。



## 新たな祖父母ふれあいデー

6月20日と28日は祖父母ふれあいデーでした。ここ数年コロナ禍のため縮小していた祖父母とのふれあい行事を一新しての取組でした。多くの祖父母の方にご参加いただき、園児の直ぐ傍から語りかけ、笑顔で応答していただけたことで、園児たちは温もりを感じながら楽しく過ごしていました。

「園児たちから元気をいただきました。」といった感想も多くいただき、園児たちも祖父母の方に元気パワーをお返しすることができたようで、より良いふれあいとなりました。

## 附属幼稚園というフィールドで



くすのき会の園庭整備・祖父母ふれあいデー・杏子ドーナツ製作など保護者のご協力のもと実り多い一学期を過ごしています。その成果や課題はあるものの保護者と共に行事を実現していくことで、附属幼稚園が目指している「共にそだつ」を共有できたり、子どもたちの姿を通して考えられたりできる機会となりました。

園庭整備後の園児たちの砂場との出会いでは、年齢ごとのリアクションに発達段階の違いを改めて感じ、祖父母ふれあいデーでは、温もりのあるふれあい活動や出し物に、園児たちの心にはほっこり花が咲きました。また、リトルソルトさん手作りの甘酸っぱい杏子ドーナツは、素材の良さを最大限引き出してくれ、生きた食育活動につながりました。

附属幼稚園を舞台にして、毎日様々な立場の方が子どもを見守り、語らい、子どもの支えとなって、子どもを中心とした社会を実現できています。今後も子どもを真ん中にして、附属幼稚園というフィールドでどんなことができるのかワクワクしながら創造していきたいと思っております。

園長カフェにもお気軽にお立ち寄りください。



園長カフェ OPEN よい